

2019年全国交通安全運動や墨田区の交通事故防止の取組み等について

1 2019年春の全国交通安全運動5月11日(土)～20日(月)までの10日間)

〔運動の重点〕

- (1)子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- (2)自転車の安全利用の推進
- (3)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4)飲酒運転の根絶
- (5)二輪車の交通事故防止(東京都の重点項目)
- (6)放置自転車・放置二輪車の撲滅(墨田区の重点項目)

令和元年秋の全国交通安全運動は9月21日(土)～30日(月)までの10日間の予定

2 墨田区の交通事故防止の取組み

(1)放置自転車クリーンキャンペーン

- ・平成30年10月末に実施した都内の放置自転車等台数調査において、錦糸町駅周辺の放置自転車等の台数は146台という結果でした。
- 782台で都内ワースト1位になった25年度と比較すると大幅に減少しましたが、未だ放置自転車が見受けられます。

引き続き利用マナーの啓発をクリーンキャンペーンを通じて行います。

[今後の実施予定]

- ・10月下旬 錦糸町駅周辺と東向島駅周辺(東京都の第36回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの一環)
- ・12月下旬 錦糸町駅周辺と曳舟駅周辺と両国駅周辺(区主催の職員クリーンアップキャンペーンに合わせて実施)

(2)錦糸町駅周辺放置自転車対策

- ・放置自転車が多い錦糸町駅周辺は、平成29年4月からほぼ毎日、警告・撤去を行っています。また、店先に放置自転車が多い店舗においては、自転車の利用マナーの啓発活動を行い、放置自転車の減少に努めています。

(3)スタントマンを使ったスケアード・ストレート方式の交通安全教室

- ・今年度は、12月に都立両国高校で実施する予定です。
- スケアード・ストレートとは、事故現場を再現し、事故の恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法です。

(4)その他の啓発活動

- ・すみだ区報3月11日号に自転車の安全利用に関する特集号を組んで、安全な乗り方や保険について周知を図りました。また、ヘルメット装着の重要性についても記述しています。
- 今後各機会を通じて、周知を図っていきます。
- ・5月14日(火)に本所警察署と共同で、走行する二輪ドライバーに対して、放置禁止に関する啓発活動を行いました。
- ・10月5日(土)、6日(日)に錦糸公園で開催する「すみだまつり・こどもまつり」において、自転車の利用マナーの啓発活動を行う予定です。

二輪ドライバーへの啓発活動の様子
(令和元年5月 江東橋にて)放置自転車クリーンキャンペーンの様子
(平成30年10月錦糸町駅前にて)スケアード・ストレートの様子
(平成29年12月都立日本橋高校にて)

すみだ区報3月11日号

3 錦糸町駅南口機械式自転車駐車場の整備

(1) 新たな自転車駐車場の開設

平成31年4月1日に錦糸町駅南口に新たに自転車駐車場を開設しました。

地下に設置された円筒型ラック式の自転車駐車場に、車両情報を記録したICチップ搭載の自転車を地上部の入出庫ブースから自動的に入出庫できるシステムを備えた機械式自転車駐車場です。

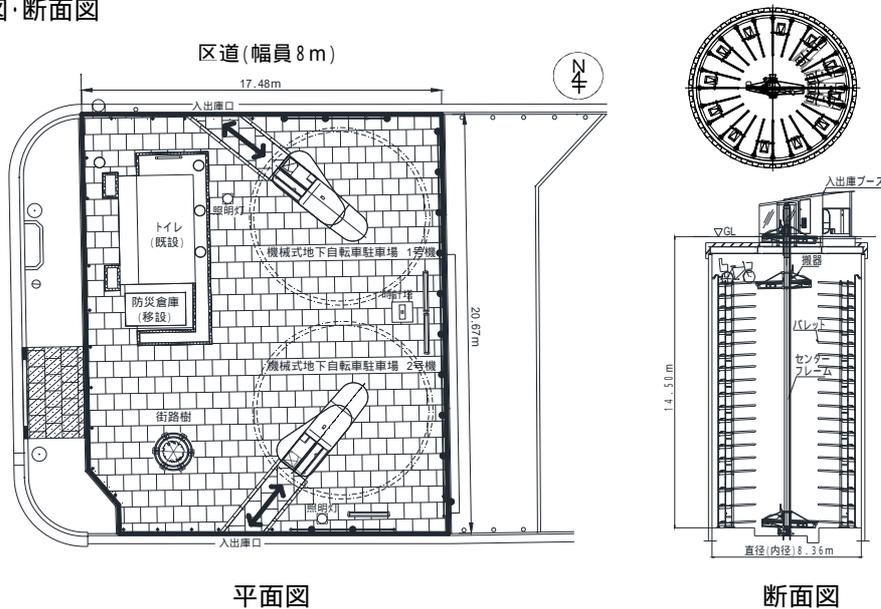
(2) 施設概要

整備場所	錦糸町駅南口区画街路2号線脇広場 JR錦糸町駅、東京メトロ錦糸町駅から約200m
整備面積	約360m ² (20.67m×17.48m)
施設構造	円筒型地下式(直径8.36m、深さ14.5m)×2基
台数	456台(228台×2基)
入出庫時間	平均17秒/台
運用開始	平成31年4月1日

(3) 案内図



(4) 平面図・断面図



(5) 施設の全景



昼間の様子



夜のライトアップした様子